

最優秀賞

割り箸にごはん一粒春の山

岩手県立水沢高等学校 二年

鈴木 萌晏

優秀賞

水鉄砲撃てよ友達に戻らう

埼玉・星野高等学校 二年

野城 知里

わたしこの本に棲む紙魚にならなる

福岡県立明善高等学校 二年

川口 るみ

佳作

白粉花流星のごと手を洗う

岐阜県立吉城高等学校 一年

水崎 ゆず

立ち向かうそう思う日の暑さかな

千葉県立安房高等学校 一年

森山 和花

蝉しぐれ父の呼ぶ声こだまする

東京・淑徳巣鴨高等学校 一年

酒井 るり子

留守番の庭の明るし芋虫這ふ

愛知・名古屋高等学校 三年

原田 駿

蟻の道曲がりながらも整然と

三重・三重高等学校 二年

高濱 颯太

入選

九州男児むんずとかぶと虫攫ひ

東京・立教池袋高等学校 三年

井上 昂星

剽軽なラジオネームや晩夏光

群馬県立太田高等学校 二年

藤田 華綺

葬送の列の後から五月闇

静岡県立浜松南高等学校 一年

中田 久善

海霧や銀濁りたる臍ピアス

愛知県立幸田高等学校 三年

木村 夢

祖父の家おやつはトマトでありにけり

山口県立熊毛南高等学校 一年

岡村 音乃

向日葵や見渡す限り皆主役

埼玉県立浦和第一女子高等学校 一年

河端 春杏

秋曇窓に張りつく求人票

青森県立七戸高等学校 二年

川村 海斗

年の暮れ消しゴムも小さくなった

北海道・旭川龍谷高等学校 二年

高田 麻由

それでもと進む轍や若楓

千葉県立幕張総合高等学校 三年

花澤 希海

## 俳句の部選評

俳人

堀本 裕樹

第二十三回全国高校生創作コンテストに応募してくださった皆さん、ありがとうございます。今回で三回目の俳句部門の選者を担当させていただきますでしたが、多感な皆さんの新鮮な句との出会いを嬉しく思っています。

では、入選を果たした句を観ていきます。

割り箸にごはん一粒春の山

最優秀賞の鈴木萌晏さんの作品。季語は「春の山」で春。この句の持つ自然体の雰囲気にならず惹かれました。どこにも力が入っていない。いい句を作ってやろうという企みや力みがなく、思わずぼっと出てきたような句です。

春の山を眺めながらお弁当でも食べていたのでしょう。非常にのどかな光景です。そして食べ終える頃にふと持っていた割り箸を見ると、お米が一粒くつついていたのです。その向こうには、山が笑っています。「山笑ふ」も春の季語で、芽吹き花を咲かせる山の様子を「笑ふ」とまるで人間のようになたとえたのです。この句の春の山もお弁当を食べている作者に、その小さな米粒に笑いかけているようです。そこには

平和にごはんを食べられる感謝の気持ちさえじわり感じられます。

「ごはん一粒」と「春の山」との遠近法もうまく効かせた、ほんわかでいて卓抜な一句。

水鉄砲撃てよ友達に戻らう

優秀賞の野城知里さんの作品。季語は「水鉄砲」で夏。喧嘩をしている友達との水遊びの場面です。何人かの友達で水鉄砲を撃ち合う遊びをしているのですが、そのなかの一人との仲がうまくいっていない。でも、もうそろそろ仲直りしたいのです。それはお互いの雰囲気で伝わってきます。その水鉄砲で遠慮なく自分を撃つてくれたら、こちらも笑って打ち返せるのに。水鉄砲を無邪気に撃ち合える仲に早く戻りたい。「撃てよ」という呼びかけが作者の気持ちを代弁するとともに、青春の友人関係のコマを輝かせています。

わたしこの本に棲む紙魚にならなる

優秀賞の川口のみさんの作品。季語は「紙魚」で夏。「この本」とはどんな本でしょうか。小説か詩集か句集か、いろいろ想像できます。とにかく「この本」が大好きなのです。だから本に棲みつく虫である「紙魚」にならると宣言しているのです。高らかにこの不思議ともいえる宣言を一句に仕立て上げたところに惹かれました。思春期にそんな本に出会えたことは一生の宝物になるでしょう。

佳作の水崎さんの句は、「流星のごと手を洗う」が新鮮。進む水と手の動きがよく見えます。森山さんの句は、何かに立ち向かっていく志が伝わってきました。暑さもはねのける気持ちの強さ。酒井さんの句からは父の温かい声が聞こえてきます。同時に父を慕い、父に会いたい思いが「こだま」に溢れます。原田さんの句は、留守番のゆったり流れる時間を「芋虫這ふ」の情景でうまく捉えました。高濱さんの句は、蟻をよく見つめて詠んでいます。句作りはじっくり観察することも大切ですが、「整然と」は凝視した成果です。

### ● 堀本 裕樹(ほりもと・ゆうき)

俳人。一九七四年和歌山県生まれ。俳句結社「蒼海」主宰。俳人協会幹事。國學院大學卒。第2回北斗賞、第36回俳人協会新人賞受賞。二松學舎大学非常勤講師。2019年度「NHK俳句」選者。著書に『桜木杏、俳句はじめてみました』(幻冬舎文庫)、『NHK俳句ひぐらし先生、俳句おしえてください。』(NHK出版)、漫画家・ねこまきとの共著『ねこまかぞく』(さくら舎)、『俳句の図書館』(角川文庫)、芸人・又吉直樹との共著『芸人と俳人』(集英社文庫)、句集『熊野曼陀羅』(文學の森)などがある。